

ふくい産学官連携

大学のシーズと自治体、
産業界を繋げる少人数イベント

マッチング ミーティング

2024

大学と繋がりたい

大学の力を借りたい

大学と連携したい

参加費
無料

定員10社

応募が定数を超える
場合は応募動機を元
に選考いたします。

※1社辺り複数名の参加が
可能ですが、ディスカッ
ションは1社1名のみ
の参加となります。

ふくい産学官マッチングミーティングとは

大学のシーズを、テーマ毎に「少人数で知る・つながる」
大学と企業・自治体・団体のためのマッチングイベントです。
講義後には講師とのディスカッションを行い、
テーマについて深掘りします。

▶大学のシーズを知る「講座」60分+シーズを深掘する「少人数ディスカッション」60分

2/5 MON 13:30~15:10
@AOSSA7階

福井大学国際地域学部で
実施する企業・自治体との
PBL※連携事例の成果と課題



福井大学国際地域学部准教授
田中 志敬 氏

対象 技術等の専門分野に特化した部
門でない業種

2/9 FRI 13:30~15:10
@福井県立大学

ChatGPTで業務改革DX



福井県立大学情報センター准教授
村田 知也 氏

対象 すべての業種

2/14 wed 13:30~15:30
@福井工業大学

デザイン思考による
製品やシステムの開発

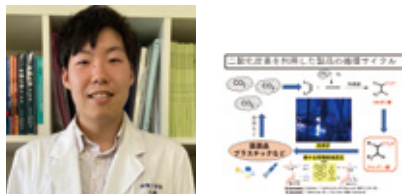


福井工業大学工学部建築土木工学科教授
竹田 周平 氏

対象 防災減災、医療、福祉、食品、商社
自治体、製品開発に従事する方々

2/15 THU 13:30~15:40
@AOSSA7階

CO₂の資源循環を目指す
光反応導入



福井工業高等専門学校物質工学科助教
山脇 夢彦 氏

対象 特殊な有機化合物や高分子材料
を合成したい企業 他(裏面参照)

2/26 MON 16:00~18:10
@福井県立大学

"日本オリジナル"チーズ
開発の必要性



福井県立大学生物資源学部学部長教授
日弁 隆雄 氏

対象 食品加工開発、レストラン・サー
ビス業、観光業、酪農業

2/29 THU 13:30~15:10
@仁愛大学

自走型ロボットによる獣害
忌避効果の最新事例報告



仁愛大学人間学部准教授
安彦 智史 氏

対象 情報通信業、農業、畜産業

※PBL(Project Based Learning :課題解決型教育)とは、大学教員のもと、学生が主体的・協働的に問題を発見し、グループワークやフィールドワーク等を通して課題解決へのアプローチ方法を習得する教育方法です。例えば、企業の商品開発、商店の活性化、伝統工芸の広報発信などの活動があげられます。

主催：未来協働プラットフォームふくい実行部門会議3
「企業や地域の課題解決」(仁愛大学、福井県総務部大学私学課)

お問合せ：一般社団法人福井県まちづくりセンター
info@machidukuri.fukui.jp(竹本)

お申し込みの詳細はこちらから

ふくいマッチングミーティング 2024



2/5 MON
13:30~15:10

福井大学国際地域学部で実施する企業・自治体とのPBL連携事例の成果と課題



福井大学国際地域学部准教授
田中 志敬 氏

福井大学国際地域学部でPBLの企画立案を担当する教員が、企業や自治体と実施しているPBLの実例を紹介します。PBLの学年進行の全体像や評価の基準、連携の中での成果や課題についてお話しします。

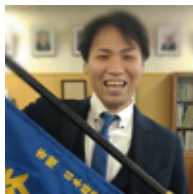


- 企業・自治体の取組に対して協力できる主な事項
 - ・ゼネラリストとして対応可能な現場における課題分析・改善提案・社会実験・効果測定
- シーズ活用に期待が持てる業種技術等の専門分野に特化した部門でなければどこでも可能

アotts7階 Fスクエア

2/9 FRI
13:30~15:10

ChatGPTで業務改革DX



福井県立大学情報センター准教授
村田 知也 氏

デジタル時代の業務改革に必要なChatGPTの活用法を提案します。AI技術の仕組みや安全な導入方法、データの安全性に関するポイントも網羅。効率化、コスト削減、ユーザーエクスペリエンスの向上を目指します。



- 企業・自治体の取組に対して協力できる主な事項
 - ・調査、リサーチ
 - ・業務効率化の提案
 - ・コンテンツ作成・議事録作成
 - ・製品やサービスの説明、解説
- シーズ活用に期待が持てる業種すべての業種

福井県立大学
地域経済研究所会議室

2/14 wed
13:30~15:30

デザイン思考による製品やシステムの開発



福井工業大学工学部建築土木工学科教授
竹田 周平 氏

デザイン思考とは、ユーザーや顧客の視点から真の課題を抽出する方法です。本講演では、デザイン思考によるデザイン開発の事例(医工連携)から、誰もが容易に利用・使用できる製品やシステムを考えます。

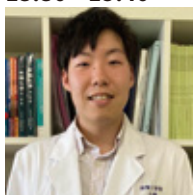


- 企業・自治体の取組に対して協力できる主な事項
 - ・使いやすい製品やシステムを考える思考
- シーズ活用に期待が持てる業種
防災減災、医療、福祉、食品、商社、自治体、製品開発に従事する方々

福井工業大学

2/15 THU
13:30~15:40

CO₂の資源循環を目指す光反応導入



福井工業高等専門学校物質工学科助教
山脇 夢彦 氏

二酸化炭素を資源として利用する取り組みは世界中で注目されています。カルボン酸は二酸化炭素を原料として合成されており、本講演では、カルボン酸から、金属や熱などを使用せずに、穏和な光エネルギーを用いて医薬品や特殊な高分子材料を合成する最新研究を報告します。



- シーズ活用に期待が持てる業種
 - ・特殊な有機化合物や高分子材料を合成したい企業
 - ・SDGsを意識した、新しい有機合成反応にトライしたい企業
 - ・核酸医薬品のための光保護基の開発に興味のある企業
 - ・子供向けのSDGsを意識したイベントへの参加、実験を検討する企業

アotts7階 Fスクエア

2/26 MON
16:00~18:10

"日本オリジナル"チーズ開発の必要性



福井県立大学生物資源学部学部長教授
日比 隆雄 氏

ナチュラルチーズは、地域名がブランドとなるグローバル商品であり、県産植物由来の乳酸菌に着目し、独自の製法によるチーズを開発しています。また、チーズの健康効果についても検証し、福井ゆかりのブランドチーズの開発検討について報告します。



- 企業・自治体の取組に対して協力できる主な事項
 - ・チーズの試食、提供
- シーズ活用に期待が持てる業種
 - ・食品加工開発
 - ・レストラン、サービス業
 - ・観光業
 - ・酪農業

福井県立大学
地域経済研究所会議室

2/29 THU
13:30~15:10

自走型ロボットによる獣害忌避効果の最新事例報告



仁愛大学人間学部准教授
安彦 智史 氏

株式会社スズキ、株式会社エムスクエア・ラボ、株式会社ウルフカムイで共同研究をおこなっている自走式ウルフムーバーを用いた動物忌避の実験結果について報告します。



- シーズ活用に期待が持てる業種
 - ・情報通信業
 - ・農業
 - ・畜産業

仁愛大学ラーニング commons

主催：未来協働プラットフォームふくい実行部門会議3
「企業や地域の課題解決」(仁愛大学、福井県総務部大学私学課)

お問合せ：一般社団法人福井県まちづくりセンター
info@machidukuri.fukui.jp (竹本)

お申し込みの詳細はこちらから

ふくいマッチングミーティング 2024

